

登別市・白石市姉妹都市 登別山岳会・白峰会交流登山 記録集

令和元年（2019）年 10 月 11 日～15 日

御 礼

登別山岳会 会長 河村 勝

登別市の姉妹都市宮城県白石市の山岳会・白峰会と登別山岳会の交流登山は今年で 8 回目です。

第 1 回は、平成 22（2010）年 7 月に羊蹄山、第 2 回は同年 10 月に蔵王連峰、平成 23（2011）年は東日本大震災により交流を中止したものの、第 3 回は平成 24（2012）年に樽前山と夕張岳、第 4 回は平成 25（2013）年 10 月に吾妻連峰・一切経山、5 回目は平成 26（2014）年 7 月に大雪山縦走、第 6 回は平成 27（2015）年 10 月に栗駒山を登山しました。3 年ぶりとなった平成 30（2018）年 7 月の交流登山は礼文島・利尻島をめぐり、利尻山を登山しました。

8 回目となる今回の交流登山は、宮城県船形山を予定していましたが、登山口に近い山野川温泉（宮城県大和町）で交流を深めたものの、日本各地で甚大な被害があった台風 19 号の影響により登山を断念しました。

しかし、白峰会の皆さんと夜が更けるまで互いに山談義をすることができ、両市民の草の根交流の目的を達成することができたと思います。

白峰会の皆様、ありがとうございました。また、御協力をいただいた本会会員の皆様に感謝申し上げます。

このたび、第 8 回目となる交流の記録を残すため、記録集を作成しました。

両市の発展と末永い交流が続きますよう御祈念申し上げますとともに、御参加くださいました両会会員の御健勝と御多幸を御祈念申し上げ、御礼の言葉といたします。

目次

	ページ
登山計画書（届）	1
近藤 功	3
栗山 沙智子	7
増川栄子	13
鈴木徳子	16

登山計画書 (届)					
山行リーダー 澤田 時人					
目的の山名	「登別市・宮城県白石市姉妹都市交流登山」 船形山 (1500m) (登別山岳会単独登山として「荒尾岳 (984m)」)			ルート	船形山: 升沢コース (大和町) 荒尾岳: 片山コース (1時間コース) またはハツ森コース (1時間半コース)
日程	船形山登山: 10月13日 (日) 荒尾岳登山: 10月14日 (月)		登山形式	日帰り・縦走	
荒天時の行動予定			現地にて判断		宿泊 10/12、10/13いずれも宿泊場所あり
緊急連絡先	登別山岳会理事長 藤木晴夫				
日程及び行動予定	10月11日	(金)	19:00 会長宅集合後、登別発～21:00 苫小牧西港～23:59 苫小牧西港 (シルバーフェリー 2等寝台A (1名定員) 泊) ～		
	10月12日	(土)	5:00 八戸港着～5:30 和田山岳会田原氏運転 マイクロバスにて移動～		
			17:00頃 宮城県大和町吉田字台ヶ森「山野川温泉」～交流会～22:00就寝		
	10月13日	(日)	4:00 起床～5:30 山野川温泉発～6:30 旗坂キャンプ場着～7:00 登山開始～8:40 鳴清水～10:00 三光の宮		
			～10:30 瓶石沢分岐～11:30 蛇ヶ岳分岐～11:50 船形山頂上～12:20 下山開始～13:20 蛇ヶ岳～16:00 下山終了		
			～18:00 宮城県鳴子温泉「鬼首温泉 (おにこうべ)・峯雲閣」着～22:00就寝		
	10月14日	(月)	6:00 起床～8:00 出発～8:30 荒尾岳登山口着～9:00 登山開始～荒尾岳 11:30 頂上～12:00 下山開始		
～14:00 登山口～移動～八戸港					
八戸港 22:00～ (シルバーフェリー 2等寝台ベッド/2名定員A 泊)					
10月15日	(火)	6:00 苫小牧西港着～8:00 会長宅にて解散			
共同装備	ロープ (φ8-20m 澤田、山岸、小山内) 会旗 (大1、小1 河村) 各リーダー、サブリーダー ツェルト 全員携帯電話				
個人装備	登山靴、リュックサック、サブサック、手袋、雨具、地図、コンパス、高度計、ブルージック用スリング1本、スリング2本・カラビナ2・安全環付カラビナ1、保温瓶 (サーモス等)、非常食、行動食、着替え適宜、現金、運転免許証、携帯電話、携帯カイロ、健康保険証、レスキューシート、防寒着、ストック1組、サングラス、水筒、コップ ※リュックサックのほか、持参するバッグは1個とする。				
名簿	別紙のとおり				

白峰会・登別山岳会交流登山参加者名簿

NO	役職	氏名	住所	電話	年齢	性別	血液型	山行時担当	班別	車両
1	名誉会長	近藤 功						写真・記録	A	
2	会長	河村 勝						全体SL	B	
3	副会長	藤木 たか子						会計CL	A	
4	副会長	山岸 肇						A・L	A	
5	副理事長	小山内 芳廣						B・L	B	
6	事務局長	澤田 時人						CL	B	
7		森永真樹子						B 人数確認	B	
8		及川 美子						天候	A	
9		佐藤 尚武						体操	B	
10		津川 邦子						A 人数確認	A	
11		八重樫さよ子						会計SL	B	
12		栗山 沙智子						記録	A	
13		小笠原 英子						会計SL	B	
14		増川 栄子						記録	A	
15		鈴木 徳子						記録	B	
合計				15	男6人 女9人					
白峰会		交流会及び山行参加(宿泊) 【会長:佐藤(好)、副会長:深掘、大庭、鈴木(英)、佐久間(静)、佐久間(哲)、川内、鈴木(勝)】 8名 ○ 交流会のみ参加(宿泊) 【太宰前会長、五十嵐副会長、佐藤(鉄)】 3名 ○ 交流山行のみ参加 【白峰会事務局長:佐藤芳樹、深田、大森外1名、中里】 5名								

登別山岳会・白石市白峰会交流登山

登山山域：船形山（1503m）

登別山岳会参加者

澤田リーダー以下男性6名、女性9名計15名

実施日：令和元年10月11日夜から15日朝まで

記録・報告 近藤功

10月11日、15名が河村会長宅に集合、3台の車に分乗、苫小牧フェリーターミナルに向かう。準備確認。



22時45分シルバーフェリー2等寝台個室に乗船。
台風19号の影響はあまりなく無事八戸に到着。

13日、9時05分、十和田山岳会の田原さんのマイクロバスに乗り込む。

運転される田原さんとマイクロバス。途中休憩を取る。



高速八戸道～東北道、岩手山SA（10時44分）からの岩手山は雲の中、雄姿拝めず残念。花巻JCT～釜石道に入り、遠野ICで降り、途中昼食を摂り、陸前高田市の奇跡の一本松、学校、ホテル等を遠望、津波メモリアルに入館、惨状を再認識する。



記念館の前で、神妙に、哀悼の誠を捧げる



釜石道を引き返し、東北道を南下、大衛ICで降り、18時15分今晚の宿、台ヶ森温泉郷（山野川温泉）に到着、白峰会の出迎えを受ける。

今晚の宿：山野川旅館



入浴後、19時からの交流会に臨む。
白峰会佐藤会長歓迎挨拶と登別河村会長答礼挨拶。



懐かしい顔・かお、握手で、笑顔がはじけ交流を深めた。



余談、宿の水道管大雨で破損、浴槽水出ず、宿主困惑。台風の影響で明日の船形山登山は残念ながら中止。
13日（日）宿をバックにハイ、パチリ、お別れです



ビニで昼食を賄かない、土手で休憩・採食。

鳴子温泉駅に立ち寄り足湯に浸かる人がいてリラックスする。

鳴子温泉は規模が大きい、東日本一だ？そう。



鳴子温泉を 14 時 15 分に発ち、山の奥座敷温泉鬼首温泉間欠泉を見学、律儀に 10 分間隔 10 数メートル吹上。



吹上温泉峯雲閣に 15 時 10 分到着

風格のある玄関

大きな大黒柱・横桁



入浴後美味しい料理を肴に明日の荒雄岳登頂を祝し乾杯。天気祭りだ。



今日は登山中止の為温泉巡りに切り替え、田原さんの御奨めの山形の名湯「銀山温泉」を目指す、道路が台風の影響が無い事を祈る。被災者には申し訳無い。宿に別れを告げ、白峰会の皆さんの見送りを受け、8 時 25 分宿を発つ。尾花沢・国道 4 5 7 を北上、加美町から中羽前街道を西に採る、鍋越峠付近は通行止め。道路手前で告知板が欲しいね。止む無く引き返す。

国道 47 号線を西進、途中で休憩を取り、鳴子温泉経由→赤倉温泉経由、銀山温泉に 11 時 50 分到着。

大正ロマンを感じさせる見事な佇まい、感動。



川の両側の街並み 白銀名瀑布、水しぶきが掛りそう。



今度泊まろう、いい旅館街だね、うん万円か



12 時 26 分、銀山温泉を後に来た道を引き返す。コン

22 時に就寝、明日は 6 時起床。

14 日（月）、曇り、ガスッテいる。登山後の入浴を配慮してくれる、感謝。

宿発 7 時 25 分、登山口 P7 時 32 分、出発 7 時 45 分、林道を歩き、8 時頃標識に到着、



杉の植林帯を抜け、草原窪地を抜けると本格的な登山道が続く。登山道は良く整備されて居り、周りは見事なブナ林が広がり癒される。



ジグを切って登る、29 回か、少し汗ばむ。

690m 付近で休憩、馴れない登りはシンドイよ。



尾根（870m）上付近は濃霧か霧雨が強く、上衣雨具・ザックカバー着用、風が無く幸いだ。



もう少しで山頂だ、頑張ろう、9 時 45 分、荒雄岳（983m）山頂に立つ。皆さん頑張った、バンザイ “



濃霧で視界ゼロ、残念だが 10 時に下山開始。

600m 付近で小休止、少し濡れているので下山は慎重に足を運ぶ。



駐車場に 11 時 44 分頃帰着、誰も怪我無く無事帰着
喜びの一枚、オメデトウ



11 時 40 分に峯雲閣に再度入浴、汗を流す、登山後の温泉は至福の一時、有難う。宿の御かみさんの見送りを受け 12 時 22 分宿を発つ。

あ・ら・伊達の道の駅に立ち寄り、お土産・弁当等を購入、車内で食べ、国道 47 号線を経て古川より高速東北道に入車、途中 S A に立ち寄り休憩、八戸道に 16 時 10 分頃乗り込み、岩手山 S A からの岩手山は逆光でまぶしく良く見えなかった。八幡平も雲の中、残念。

17 時 20 分頃八食市場に立ち寄り、夕食ゲット、フェリーターミナルに 17 時 50 分頃到着、三日間長時間にわたり運転された田原さんとお別れする、有難う・

ご苦労さんでした。22 時の出発まで弁当を食べたり、
お店を覗いたり、テレビ観賞で各自別々に過ごす。
二人部屋の個室、21 時 30 分乗船、順調な航海。

10 月 15 日、5 時 20 分起床、6 時苫小牧港ふ頭接
岸、外は少し寒い、車 3 台に分乗、一路帰宅の途に就
く、河村宅に 7 時 30 分頃帰着、解散する。

今回の交流登山を企画・調整、宿・フェリーの手配、
マイクロバスの手配等台風の影響の中苦労された澤
田事務局長・河村会長、会計担当の藤木（た）さん達
に感謝致します、本当にご苦労さんでした、有難うご
ざいました。

天災でメインの舟形山には登れなかったが、白峰会
の皆さんと交流を更に深めることが出来、当所の目的
を達成することができ、有意義な旅でした。

白峰会・登別山岳会交流登山会

雨ニモマケズ風ニモマケズ

—東北で交流と山の旅

栗山 沙智子

10月11日（金）	19時	登別より車3台で出発（15名）
	23時59分	苫小牧よりシルバーフェリーにて八戸へ向かう。 百年に一度とも言われる台風19号接近の中、なぜか私達の乗る船だけが動いていた。しかも、仙台行きが取れなかったのが、八戸行きになっていたのだ。なんと強運な我らか、それとも・・・？  胸の中はそれぞれ、複雑な思いで揺れていたはずだが、船はそれ程揺れもせず、一路八戸へ。 （初めてのカードキー付きの一人部屋でびっくり。時代も進んでいる！）
12日（土）	雨	
	7時30分	八戸着。
	9時	田原さんのマイクロバスに乗車。この度もお世話になります。  東北自動車道を南下。8月北アルプスへ行く時も通

		った道で、見る地名が懐かしい。 黄金の穂波と紅葉しはじめた木々を見て行く。 盛岡に近づくにつれて雨風が強くなってきた。
	12 時 20 分 ～13 時	陸前高田へ向かうため花巻より三陸海岸の方へ向かう途中、遠野道の駅「風の丘」にて各自昼食。
	14 時 15 分 ～14 時 30 分	高田松原津波復興祈念公園の中の東日本震災津波伝承館という大きな建物に入り、被害の写真などを見る。 外には4階まで津波で打ち抜かれた5階建ての下宿定住促進住宅などが残り、築かれた高い防潮堤やレプリカという奇跡の一本松が見える。 (震災の翌年、東北応援一人旅と称して盛岡や北上を回り、被害のお話をたまたま聞いたり、震災詩歌の展示を見たりした。海岸沿いの惨状を見るのは忍びないと思い、足を運べなかったのが、今回わずかだが実態にふれた。) 美しい海岸線が時折見える道を再び戻って、東北自動車道を更に南下するが、頻繁に避難指示などの情報を知らせるメール音がバスの中に鳴り響く。台風に向かって行く私達にいったいどんな前途が・・・。
	18 時 15 分	「山野川温泉」に到着。 白峰会の方々、ずい分お待たせしました。
	18 時 40 分 ～20 時 40 分	交流会。 各会長さんの挨拶と事業報告の後、おいしい食事とお酒で歓談。 白峰会の会長さんの「台風とダブルのお迎えを思い出として」とのお言葉。台風の接近の大変な中にもかかわらず、にこやかにお迎えしてくださり、おいしいおにぎりや柿もいただきました。 一生忘れない旅となりました。ありがとうございました

		す。  台風の影響で温泉の蛇口からお湯が出なくなったが、あたたかいお風呂には入れた。 道の奥深く入って来て、周りには見えないが、崖は無いとのことで一安心。ただ吉田川かが氾濫すると通れなくなることもあるとのことのお話だった。
10月13日（日）	晴	船形山登山中止。観光に変更。 夜中のはげしい雨も止み、青空が出ているが、風が強く登山中止。白峰会の方々は家族の方が避難していたり、色々な被害が報じられているので、帰宅することになり、我々のバスを見送って下さる。 （朝、散歩に出てみると、宿の近くには竹林があり、川が流れ、のどかなところだった。庭には歌碑があり、宿の奥様のお父様が歌会を開いていた時のお仲間の歌で、賞をとったのもある。その中の一首「山があり 林があつて 田があつて 満たされている 秋の一日 達也」。台風接近の中、おもてなしに感謝です。）
	8時30分	白峰会の方々に感謝しつつ出発。 道路脇に稲ワラが吹き溜まっていたり、道路の泥を片付けていたりする方達が見える。田に浸水したり、川の氾濫も見えたりする。
	10時20分 ～10時40分	銀山温泉散策（山形県尾花沢市）。 昭和58年テレビ放映の「おしん」の舞台ともなった。



銀山川をはさんで木造3、4階建ての温泉宿が並んでいる。大正時代にタイムスリップしたような、たたずまいだが、実際には大正2年銀山川の大洪水により壊滅し、昭和元年に建て替えられたそうだ。



名の由来は寛永年間、銀山で働いていた鉱夫が川の中に温泉が湧いていたのを発見したことからという。
(当会の某氏は何度も予約を取ろうとしても取れないとのこと。私は10年前に建物を見て歩いただけ。泊まるには足りない物が・・・。)

13 時

こけし発祥の地鳴子の荒尾川にかかる鳴子大橋下の川岸で昼食。

14 時

鳴子温泉駅見学。中はローマ遺跡のような観客席のある不思議な建物だった。
この付近の道には、芭蕉の「奥の細道」を示す看板があちこちにあった。

15 時

間歇泉見学。
栗駒国定公園鬼首（おにこうべ）温泉郷の吹上温泉かんけつ荘の庭にあり、10分おきに吹き上がる。周りには露天風呂やお湯の流れる滝があった。

15 時 20 分

吹上旅館「峯雲閣」到着。
鳴子温泉などと違って広々とした高原の奥にあるひ

		なびた宿。 フロントは500年前の館を改造したもので、黒々とした太い梁が見事。壁にまつられている釜神様という猛々しいお面や巨臼も。 随時入浴。 内風呂の中から見えるのは混浴の露天風呂と滝が流れ落ちたところの露天風呂。滝風呂は大雨のせいでぬるくなっている。(横綱白鵬達が入っているポスターがあった。) 専用の浴衣を着て、私達も混浴体験。先に入っていた顔見知りの男性2人は早々に引き上げました。
	18 時 ～19 時	夕食。 前日も出たが、今日も「みず」が出た。前日のは実で今日のは茎かと思ったが、帰宅後に調べてみると「イラクサ科の一年草で、茎が下部で地に伏し、上部は直立して菱形状卵形の葉を対生する」とあった。つまり、茎と葉だったのだ。ハー、おどろいた！ この夜は運動不足解消にカメムシ退治に奮闘された方々あり。感謝！
10 月 14 日 (月)	曇り	
		荒尾岳 (954m) 登山。 この山は鬼首カルデラの中央火山群ということで、山麓に多くの温泉が湧き、間歇泉が見られるという。
	7 時 20 分	宿出発。
	7 時 50 分	登山開始。 林道を20分ほど歩き、つづら折りの道を歩くことが多い。ゆるやかな登山だ。ブナの木が多く、巨木も

		ある。木々が色づき始めている。
	9 時 05 分	霧のためカッパを上だけ着る。
	9 時 45 分	頂上着。晴れていれば栗駒山が目の前に見えるはずだが、霧のため何も見えず残念！
	11 時	下山。
	11 時 50 分	峯雲閣にて入浴。お世話になりました。
	12 時 30 分	再び東北自動車道を北上して帰途につく。
	13 時 30 分	あ・ら・伊達な道の駅。 ここは入口が2か所ある。12日は「裕福な入口」から大半の人が入ったが、今日は「幸福の入口」から入る。やっぱり「裕福」より「幸福」ですね。 夕方、岩手山に太陽がかかり、宮沢賢治記念館で昔見た水彩画「日輪と太陽」を思わせる（まぶしい）。
	17 時 50 分	八戸「八食センター」でそれぞれ夕食をゲットする。
	18 時	八戸港着。 田原さんとお別れ。今回も長い道のりを安全運転でありがとうございました。
	22 時	出航。今日は2段ベッドの二人部屋だ。
10 月 15 日（火）	4 時	早くに目が覚めたので一番ブロに入る。 満月が空に浮かび、海に月の道が出来ていた。 おだやかな航海と無事な山旅に感謝しつつ見入る。
	5 時 57 分	苫小牧港に着岸。
	6 時 20 分	港出発。 バッテリーの上がった車が1台あったが無事回復。
	7 時 35 分	登別着。解散。
リーダー始め、皆様、お世話になり、ありがとうございました。 白峰会の方々、次々と台風のニュースに心配になりますが、その後もお変わりないでしょうか。 お世話になり、本当にありがとうございました。 昨年 of 礼文・利尻の交流登山に引き続き、まとも記録を仰せつかりました。 東北は大好きで何度も旅していますが、広い土地ですので、ほとんど初めて見る所ばかりで更に興味が湧きました。 今度は台風の来ない時にお訪ねできたらと思います。 互いに災害に対しての備えと心構えをしつつ、楽しく山に登っていききたいものですね。		

2019 年 10 月 11 日（金）～15 日（火）

白峰会・登別山岳会交流登山会

登別山岳会参加者 15 名（男性 6 名、女性 9 名）

増川 栄子

10 月 11 日（金）	19 時	河村会長宅前集合。
	21 時	出発。車 3 台にて苫小牧西港、閉会式。
	23 時 15 分	フェリーの個室へ入室。
12 日（土）	5 時	起床。下船の準備、朝食。八戸港着。 マイクロバスが少々遅れ、到着。
	9 時 25 分	高速道路に入る。何度かパーキングに入り、トイレ休憩。大型台風が迫ってきている中、皆さん警戒。避けている中、私達は台風に進んでいます。（幸い、私達は雨や風にたいしてあたりませんでした。）花巻、遠野などをめぐり、道の駅にて昼食。
	13 時	震災に遭った「陸前高田」の津波震災記念公園を見る。防潮堤を見て、テレビで見た津波映像が頭をよぎる。忘れないために立派な建物も必要かもしれないが、被害、被災された方々にもっと何とかしてやってほしいと願わずにはいられませんでした。 バスの中でいまの台風の影響を知らせる避難勧告や避難指示のメールがみんなの携帯電話に何度も入る。
	18 時 20 分	交流会の会場に遅れて着き、白峰会の皆さんに迷惑をかけました。21 時には記念写真を撮り、交流会終了。
10 月 13 日（日）	7 時	朝食。
	8 時 20 分	山野川温泉出発。  船形山登山は残念ですが中止となり、ドライブ観光に切り替え、「あ・ら・伊達な道の駅（＝道の駅の名前）」

10月14日（月）		で休憩。
	11時50分	銀山温泉着。街並み見学。川の水量、色、流れに驚く。  鳴子温泉駅舎見学。半円形の階段状の待合室。足湯に入った人も。 吹上間欠泉（10分間隔で）が吹きあがる。 
	15時20分	鬼首（おにこうべ）温泉・峯雲閣着。  露店風呂が混浴。自然の滝風呂はほぼ水。これも良い思い出になりますね。
	18時	夕食会。
	7時	朝食。
	7時40分	荒尾岳登山。早目の出発。白峰会の4名の方が同行す

		ると言っていましたが、台風の影響と道路状態が良くなく、参加できず残念。
	7 時 50 分	体操後、なだらかな曲がり道を繰り返し登る。残念ながら景色は見えず。
	9 時 46 分	頂上記念写真。 
	10 時	下山開始。
	11 時 15 分	登山口着
	12 時 20 分	温泉出発。八戸港へ移動。
	21 時	フェリー乗船。各自室へ。
10 月 15 日（火）	5 時	起床。
	6 時	苫小牧西港着。
	6 時 20 分	駐車場発。
	7 時 35 分	登別着。
	7 時 40 分	閉会式。
皆さんお疲れ様でした。お世話になり、ありがとうございました。		

白石市・登別市姉妹都市交流登山

2019（令和元）年10月11日（金）～15日（火）

参加者 白峰会 12名、登別山岳会 15名

記録・報告 鈴木徳子

出発前から報道等で大型台風のニュースが流れ、自分なりに案じていましたが、決行すること。全員参加で出発した交流登山。現地はやはり強い雨に川の流れも濁流、車中の会員のそれぞれのスマホに「避難指示」「避難勧告」が鳴り響きます。

宿に着くと白峰会の方々が出迎えてくださいましたが、ここに来るまでには、それぞれに「葛藤」があったことが話の中から汲み取れました。

そのような大変なときに出向いてくださり、交流して下さったことに頭が下がります。（感謝）

また、出発することを決断された全体CLやCLは大変だったとお察し致します。何かを成し遂げることの難しさを間近で感じた、この度の交流会！！

皆様、本当にお疲れ様でした。

（※以下の行程日時は簡略に記しただけですので、ご容赦のほどをお願いします。）

10月11日（金）	19：00	会長宅前集合。
	23：59	苫小牧港（シルバーフェリー）発。
10月12日（土）	7：30	八戸港着。
	9：20	八戸港発（田原氏運転）。 
	9：45	高速道
	11：25	紫波SAにて休憩。
	11：35	花巻JCT
	12：20	遠野「風の丘」にて昼食。ショッピング。
	13：40	45号線に出て大船渡市へ。
	14：15	陸前高田市。高田松原、津波復興記念公園見学。
	18：20	台ヶ森温泉「山野川旅館」着。
	18：40～	交流会。各自部屋にて就寝。
	20：00	船形山登山は台風19号の影響により中止となる。
10月13日（日）	7：00	朝食。玄関前にて記念撮影。

		
8 : 20	宿を出発。	
10 : 20	大崎市「あ・ら・伊達な道の駅」ショッピング。	
11 : 50	银山温泉散策。 	
13 : 00	鳴子温泉の街を散策。食事（ただし、コンビニ！！）	
14 : 45	鳴子温泉「間歇泉」を見学。 	
15 : 10	今日の宿「鬼首温泉・峯雲閣」着。	

		
	18 : 00～	夕食。食事後、各自の部屋でラグビーワールドカップ日本対スコットランド戦（28 対 21 で日本の勝利でベスト 8 進出決定）を見て、就寝。
10 月 14 日（月）	6 : 00	起床・朝食。
	8 : 05	荒尾岳登山口。
	9 : 45	頂上。 
	9 : 55	下山。
	11:15	登山口着。昨日の宿にて汗を流し、帰路に着く。
	18 : 00	八戸港フェリーターミナル着。
	22 : 00	苫小牧へ。
10 月 15 日（火）	6 : 00	苫小牧港着。
	8 : 00	会長宅前で解散。